



燃ゆる感動 かごしま国体

特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023



高校生の白熱した戦い

10月7日(土)に開幕した「燃ゆる感動かごしま国体」。鹿児島県では51年ぶりに開催されました。本町では、会期前実施競技として9月16日(土)から19日(火)まで、大崎町ビーチスポーツ専用競技場において、ビーチバレーボール種目がおこなわれました。

各都道府県を代表して大会に挑んだ選手たちは、照りつける日差しの中、優勝をめざして戦い、多くの人々に感動を与えました。

ビーチバレーボールは、2020年に開催される東京オリンピックに向けて、2017年の第72回国民体育大会(愛媛国体)から正式競技として採用され、2019年の第74回国民体育大会(茨城国体)からは18歳以下(高校生)の種目となっています。

47都道府県から、少年男子・少年女子それぞれ1チームずつ計94チームが参加し、4日間の日程でおこなわれました。初日の1回戦から接戦が相次ぎ白熱した戦いが繰り広げられ、喜びや感動の涙を流す選手、悔しさを滲ませる選手も見られました。仲間や相手チームの健闘を称え合っていました。